

報告事項 (1)

平成29年度事業報告

自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日

公益社団法人 川口法人会
会長 須賀 義幸

【事業概況】

川口法人会は、平成23年10月に埼玉県から公益法人への移行認定を経て、公益社団法人川口法人会として再出発し、第7事業年度を迎えた平成29年度は、新役員体制にて会員の皆様のご賛同を経て、公益事業への積極的取り組み及び活動基盤となる会員拡大と会員福利厚生・交流事業に取り組んで参りました。

(1) 納税意識の向上、税知識の普及啓発活動では、全会員を対象に税制改正アンケート調査を実施し、会員の意見は、全国法人会総連合にて税制改正提言書として取りまとめ、当会では地元国会議員・市長・議長に提言書を提出しました。

また将来を担う子ども達への租税教育事業を積極的に展開。第9回税の絵はがきコンクールは、川口市・草加市の小学6年生59校全校より、5,087名の応募がありました。これは、全国440法人会で6年連続トップの実績を続け、地域に完全に定着して参りました。11月12日に国税庁「税を考える週間」にあわせ表彰式並びに埼玉県消費生活支援センターと共催で「マネーとゼイの講座」(講師:関東財務局財務事務官と青年部会長)を開催。小・中学校に出向いての租税教室にも青年部会が中心となって税制委員と女性部会の協力を得て積極的に取り組み、過去最高の19校2,114名の児童・生徒に税の意義と役割について楽しく学んでもらいました。推進にあたっては、租税教育推進プロジェクトチームが、教材の見直し作成から講師スキル向上を図りました。地域の祭りにも出展し、税金クイズや税に関する紙芝居・アニメ放映などで税の啓発活動を行いました。また、川口税務署や税理士会川口支部の協力による決算期別申告説明会(11回)、新設法人説明会に加えて、新たに税務会計研修体系S-TAXアカデミー(年6回講座)をスタートさせ、一般にも公開し開催しました。(税務・会計関係研修会参加者627名)

(2) 地域社会貢献では、第2回法人会祭り“SKIP ふれあいフェス2017”を11月12日に開催し、各支部・部会と企業・団体50の市民参加体験型のブース出店、地域の学校・団体の出演及び“ゆるキャラ大集合！ゼイキングと税金クイズ大会”など家族で楽しめるステージイベントを行い、予想上回る12,000人超の来場がありました。更に、一般市民を対象に、税とのコラボのファミリーコンサート、地域の文化振興・伝統芸能の啓発を目的にハープ&弦楽コンサートや能楽体験講座、ケント・ギルバート氏をはじめ有識者の講演会を開催(参加総数3,090名)。ほか、さいたま緑のトラスト基金、日本骨髄バンクや東日本大震災遺児・孤児の基金、九州北部豪雨災害への募金を行い、『目に見える形に残る社会貢献活動』を積極的に展開しました。

(3) 研修事業・企業発展支援活動では、税制・税務、企業経営、経理・労務実務からパソコン活用、税務コンプライアンス等の研修セミナーを開催。経営者・後継者育成講座 Management Business School MBS第三期(川口と草加の2クラス)を更に充実したカリキュラムと講師陣で、7月～10月計7講座を行い、3年間で延べ79名が受講し研修事業の柱になってきました。更には、事務局設置の“よろず相談窓口”で、各種相談機能の充実に努め、税理士会や昨年業務提携した埼玉県産業振興公社“よろず支援拠点”、“川口の弁護士会”、川口と草加の商工会議所とも連携協力を深化させ会員企業支援策を着実に推進しました。

(4) 会員増強・加入勧奨活動では、“ふやそう!新規加入 GOGO キャンペーン”を組織・厚生一体推進し、役員、地元金融機関、提携生損保、税理士会の協力を得て、年度中107社に新規入会をいただきましたが、退会221社で、前年度末比114社減の4,845社となりました。(法人格4,717社)

(5) 会員交流事業では、定期総会後に会員懇親会を開催し、また各支部・部会においても日帰りバス研修会や、異業種交流会なども開催し、会員交流事業を推進しました。

(6) **福利厚生等会員企業支援事業では**、企業、経営者、従業員を守る”経営者大型保障制度、ビジネスガイド、がん保険の紹介運動及び生活習慣病健診・人間ドック・総合がん検診の健康経営促進運動を推進しました。ほか、インターネットセミナー、マジックキングダムクラブ、企業情報・格付情報照会サービス、中小企業向け貸倒保証制度等、会員企業のための事業を実施しました。

(7) **広報面においては**、広報紙により税務・経営情報の発信(発行部数 7500 部)及びホームページの随時改良充実や SNS(公式 Facebook/公式 Twitter)の活用で情報発信機能を充実させました。また会員企業の PR サービスの拡充をしました。更には、地元マスメディア取材による法人会活動の広報にも努めました。

私たちは、「**税のオピニオンリーダー**」「**企業の発展を支援し国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体**」として、会員各位のご理解をいただき更に地域に密着した魅力ある事業活動を展開しますので、なお一層のご支援とご協力をお願いします。

2. 総務関係

- (1) 平成 29 年度事業活動方針並びに事業計画に基づき事業を執行した結果、公益目的事業比率 62.6%となりました。
- (2) 経常収益は、予算・前年ともに下回りました。(対予算▲2,881 千円、対前年▲997 千円) 受取会費が、役員・会員の皆様並びに関係団体のご協力により会員増強を推進しましたが、廃業・休業、3 年以上未納会員整理等の退会により会員数 114 社減となり、期初予算を下回ったことによる。(受取会費対予算▲1,874 千円 対前年▲810 千円、)
受取補助金については、全法連助成金・県連助成金に加えて川口市地域資源活用事業補助金 200 千円が、対予算 221 千円増額となった。
- (3) 経常費用については、事務局体制欠員によって給料・手当が、対予算▲3,161 により経常費用対予算▲799 千円、対前年+194 千円となった。(給料・手当除き経費は、法人会祭り拡充、新規研修事業 S=TAX アカデミー、ホームページ等改善等により、対予算+2,362、対前年 2,065 となった。)
- (4) 結果、当期経常増減額は 3 年連続マイナス計上の▲4,562 千円となり、正味財産 31,451 千円となった。平成 30 年度は、経常収支均衡に向けての抜本の見直しが求められる。
- (5) 事務局では、月次決算を行い、毎月初に税理士法人レッドサポート委託による精査を実施し、一昨年度より中間決算、本決算において税理士監事による監査も行き、ガバナンスとコンプライアンスの維持・強化に努めた。
- (5) 公益目的事業申請(公1)(公2)及び実施状況を精査した。

	事業数	日数	参加者数	(内一般)
社団(支部共催)お祭り・フェア出展 ※1	4 件	7 日	2,220 名	(2,150 名)
社団(支部共催)法人会祭り	1 件	1 日	12,000 名	(11,920 名)
支部・部会事業 ※3	14 件	17 日	3,090 名	(2,782 名)
今年度計	19 件	25 日	17,310 名	(16,852 名)
前年度計	19 件	25 日	13,638 名	(12,946 名)

- ※1 社団・支部共催事業実施概要は、3.税制関係(2)－④⑤参照
- ※2 第1回法人会祭り“SKIP ふれあいフェス 2017”については報告事項(2)参照
- ※3 「平成29年度支部・部会の公益目的事業計画実施報告」別紙参照
- ※4 研修事業での公益目的事業は、後述の研修関係に記載

(6) 募金活動

①埼玉の優れた自然環境を県民共有財産としての保全、骨髄移植ドナー登録活動、東日本大震災による遺児・孤児、九州北部豪雨災害への支援をするために、次の募金活動を行い夫々寄付した。

(総額 239,316 円)

寄付先	募金活動（主催）	実施日	寄付額（円）	
さいたま緑のトラスト 基金	・川越合同親睦ゴルフコンペ（青年部会）	4/13	22,636	127,180
	・第22回チャリティゴルフ大会（社団）	10/17	104,544	
日本骨髄バンク			46,666	46,666
北九州豪雨災害義援金	・税理士会親睦チャリティボウリング大会	7/13	50,000	50,000
ふくしまこども寄附金	・ファミリーコンサート（青年部会）	2/17	7,735	15,470
みやぎこども育英基金	東日本大震災の遺児孤児を支援する福島県・宮城県への寄附		7,735	

(7) “明日の川口法人会を創る—ASUNO プロジェクト”については、平成26.-27年度提言事項を各運営委員会で協議・検討の上、事業計画に反映し展開遂行された。

なお、プロジェクトチームは、“法人会祭り実行委員会”に改組して推進。

(8) 平成29年度事業計画・予算について、総務委員会にて精査した案を2月1日の第3回理事会において承認された。

(9) 税理士会川口支部との協力関係づくりの諸施策展開：一昨年度発足した二者協力関係推進連絡会を7月22日に開催し、税理士の法人会加入促進、広報紙・ホームページでの各種広報協力、税に関する絵はがきコンクールへの後援と税理士会川口支部長賞の授与、法人会祭りへの出展（くらしの何でも相談所—税務相談コーナー）、MBS講座、S-TAXアカデミーなどへの講師派遣、税務コンプライアンスの普及活動、川口マラソン大会の共同出走などの相互協力関係づくりを協議し夫々実施された。

(10) ”よろず相談窓口：会員企業支援の充実策の一環として、事務局にした“よろず相談窓口”では、種々の相談対応機能を充実させるべく専門機関・専門家とのルートを整備した。

※平成29年度対応実績7件（別紙参照）

(11) 埼玉県産業振興公社“よろず支援拠点”と平成28年10月業務提携に基づき、希望会員企業への個別経営相談・指導を行った。更に、次年度開催目途に「経営力アップセミナー」（年7講座）を企画策定中。

3. 税制関係

(1) 税に関する調査・研究、提言の事業

- ① 税制改正アンケート調査及び提言の上申：全会員対象に税制改正アンケートを4～5月に実施し、その結果を踏まえて全法連の「税制改正提言」に向けて、県連を通じて意見具申をした。

	発送件数	回答数	回答率	役員数	回答数	回答率
当会・当年度	5,018	166	3.3%	95	82	86.3%
前年度	5,126	253	4.9%	95	92	96.8%
前々年度	5,157	366	7.1%	131	122	93.1%
県連計	43,935	4,173	9.5%	989	924	93.4%

- ② 税制改正要望活動：全法連全国大会（福井大会 10/5）にて宣言された「平成 30 年度税制改正に関する提言」を地元選出衆参国會議員、川口市長、草加市長、両市議會議長に会長、担当副会長、税制委員長・税制委員が持参し要望した。

上部団体の全法連、県連では、関係省庁・与党税制調査会や埼玉県及び国會議員へ税制改正要望活動を展開した。※別紙「法人会の税制改正に関する提言の主な実現事項」参照

- ③ 税制についての研究：税制委員会で税制関連資料にて税制について研究・意見聴取を行った。

(2) 税知識の普及啓発事業

- ① 税に関する絵はがきコンクールの開催：川口・草加市の租税教育推進協議会との共催で、次代を担う青少年への租税教育推進の一環として、小学校 6 年生を対象に“第 9 回税に関する絵はがきコンクール”を開催するため、2 市の租税教育推進協議会の総会で、事業計画の承認を受けて実施した。応募者は、年々増加し、今回はじめて 59 校全校から応募があり、5,087 名（87%）となり、全国 440 単位会中、6 年連続トップの応募数となった。

※審査選考、表彰、作品展示等詳細は、別紙参照。

- ② 学校出前租税教室の推進：川口市と草加市の租税教育推進協議会の租税教室実施承認を受けて、要請された小学校 16 校の 6 年生 1,463 名、今年度より中学校 3 校の 3 年生で 651 名に行った。講師並びにアシスタントには、当会青年部会役員が中心となって女性部会役員、税制委員、今年度から一部支部約委員の協力で実施し、毎年着実に増加。（H29 年度 19 校 2,114 名、H28 年度 15 校 1,517 名、H27 年度 11 校 878 名、H26 年度 8 校 810 名）（別紙参照）

⇒租税教育推進 P J チームでノウハウ構築・教材見直し、講師スキル向上を検討推進

(1) 租税教室講師用の教材制作整備—H29 年度は、中学校用オリジナル教材を作成し、新たに川柳中学でグループ討議発表会を行った。

(2) 講師・アシスタントの体制づくり—講師養成研修会の実施（意思統一と説明方法統一）

⇒租税教室講師認定制度の運用：4 月 18 日理事会後に、講師資格認定証授与・認定バッジ（三段階）・専用ネームプレート、講師アシスタントへは感謝状とバッジ・ネームプレートを授与した。

（別紙参照）

- ③ 中学生の「税についての作文」の表彰：納税貯蓄組合と国税庁主催、全法連後援の中学生の「税についての作文」に当会も参画した。川口税務署管内の川口市・草加市の中学校 24 校から 2,147 編の応募作品を審査し、優秀作品 21 編が川口税務署主催の納税表彰式の場で表彰された。当会か

ら、川口法人会会長賞2名（川口市と草加市の各1名）を表彰した。

④ 川口市、草加市のお祭り出展：小学生及び家族同伴者を対象にした税の啓発活動を実施。

参加者数 1,150名（内一般1,030名）（共催支部・部会支援役員57名）

	川口市たたら祭り	鳩ヶ谷商工祭り	草加商工会議所祭り
1. 事業名称	第39回たたら祭り出展 (12回目の出展)	第48回商工会祭り出展 (15回目の出展)	第27回草加商工会議所祭り出展 (14回目の出展)
2. 会場	川口ホトレス場	鳩ヶ谷庁舎構内	綾瀬川左岸広場
3. 実施時期	平成29年8月 5日(土)・6日(日)	平成29年10月 8日(日)9日(月・祝)	平成29年11月 3日(金・祝)
4. 催事内容	・税のアニメ、紙しばい、税金クイズ「クイズだゼイ！」 ・e-Tax風船配布PR ・フェイスペイント	←左同 ・e-Tax風船配布PR ※支部事業：バルーン教室 フェイスペイント	←左同 ・e-Tax風船配布PR ・フェイスペイント
5. 参加人数	500名（内一般450名）	500名（内一般450名）	200名（内会員180名）
6. 共催支部部会/支援役員（計46名）	第一支部～第五支部 青年部会、女性部会 (24名)	第八支部 青年部会、女性部会 (12名)	第六支部・第七支部 青年部会 (10名)

※たたら祭りにて女性部会役員により「いちごプロジェクトー節電運動」で節電PRうちわとパンフ1,500枚配付

⑤ 川口市産品フェアへ参画・出展：川口市産品フェア実行委員会に参画し、10月28日(土)29日(日)SKIPシティにて開催された第2回産品フェアに出展した。

参加者数 1,330名（内一般1,300名）（共催支部・部会支援役員延べ17名）

場所	実施日	催事内容	参加数
法人会・屋外ブース	28日	・税のアニメ、税の紙しばい、税金クイズ「クイズだゼイ！」 2クール（雨天で28日途中中止、29日中止とした） ・バルーン教室（27日1回）	100名
	29日		30名
法人会・屋内ブース	3日間 常設	・法人会事業活動パネル常設展示・資料設置等	—
屋外ステージ	28日	・バルーンアートショー 〃	200名
	29日		
SKIP会場全体 (川口市と共同催事)	28日	・クイズスタンプラリー（法人会税金クイズ5問+市産品クイズ5問、10ヶ所のクイズポストを会員出展企業に設置）正解賞にけんた君文具提供	1,000名

(3) 企業税務の向上活動：全法連施策の「企業の税務コンプライアンス向上のための取組み」を推奨した。法人税・消費税等の申告説明会（年11回）、新設法人説明会、S-TAXアカデミー等にて、「自主点検チェックシート」「自主点検ガイドブック」を配布し説明し推奨した。併せて、提携地元金庫の自主点検実施会員企業向け特別優遇融資制度を案内し促進を図った。当会ホームページで、全法連YouTubeチャンネルで解説動画を閲覧可能にした。

(4) e-Taxの普及拡大：役員企業のe-Tax利用届出書の提出を勧め、利用率増を図った。

H29.12末役員企業のe-Tax利用届の提出割合	87.8%	県連平均92.2%	県内14位
H29.12末役員企業のe-Tax利用割合	79.6%	県連平均88.7%	県内14位
〃 利用増加率	▲10.1%	県連平均▲1.1%	県内15位

- ・役員・会員宛e-Tax利用のお願い書簡の広報誌同封
- ・税理士会川口支部例会で顧問先利用と税理士代理送信のお願い書簡配布依頼

(5) 消費税期限内納付運動の展開：広報紙掲載、ホームページで発信し啓蒙運動を展開。

(6) 三者懇談会の開催：税務署、税理士会、法人会の三者での共同取組み事項の検討と法人会事業への協力を要請した。(12月7日、於：夢や別館)

- ・議題：法人会事業への協力要請（税制改正提言、税の絵はがきコンクール開催）
 会員加入勧奨の協力要請及び e-Tax の普及推進等への協力要請
 税理士会事業（税務相談、税理士紹介等）への協力について
- ・出席者：川口税務署＝副署長以下3名、税理士会川口支部＝支部長以下役員12名、
 川口法人会＝正副会長・運営委員長・部会長の24名、計39名

4. 研修関係

1. 納税意識の向上、税知識の普及啓発事業「公1」

①税に関する説明会・研修会の開催

事業項目	開催日	会場	講師等	参加実績 (内未会員)	担当
法人税・消費税等の申告説明会	※年間計 11回 開催	SKIP シティ 会議室 草加市文化 会館	講師：川口税務署森上席 (内容) ・法人税・消費税等の決算・申告 時の留意点 ・税務コンプライアンス推奨	11回実施 199名 (92) ※前年220	研修 委員会
新設法人説明会 &相談コーナー	H30.3.27	SKIP シティ 会議室	講師：川口税務署樋口統括官 【相談コーナー】 ・税務：税理士会川口支部派遣 税理士 野口洋岳氏 ・経営：埼玉県産業振興公社派遣 中小企業診断士 阿部芳文氏 ・金融：日本政策金融公庫・浦和支店 融資第二課長 青柳清司氏	16名 (16)	研修
税制改正講演会 (第四支部)	H30.2.2	新工会館	講師：税理士 TOMA 税理士法人・理事長 税理士 市原和洋氏	48名 (35)	第四 支部
税務・会計研修体系 S-TAX アカデミー	H29.	リリア 11F 会議室 フレンジィア	全6回講座 ※詳細別紙 ・税理士会派遣講師 ・川口税務署法人担当 ・外部専門講師 全講座受講者へ修了証授与	107名	研修

2. 地域社会貢献事業「公2」＝地域発展・経営支援活動

① 経営実務、業務スキル、教養等の形成に役立つセミナー

事業項目	開催日	会場	講師等	参加実績	担当
第6回定期総会 記念講演会	H29.5.18	リリア音楽 ホール	講師：ケント・ギルバード 演題：「アメリカ人のボクが見た日 本国憲法」	480名 (360)	研修
パソコンセミナー	H29.8.7～9 (3講座)	SKIP シティ	・パソコン入門講座 ・ワード応用講座 ・エクセル応用講座 ※各1日コース 講師：ブレーン専任 P/C 講師	21名 (1)	研修

経理入門セミナー	H29. 6. 26	SKIP シティ	「1日でわかる経理のすべて」 講師:林忠史 ※講師著書プレゼント	41名 (2)	研修
労務管理スキル アップセミナー	H29. 7. 7	SKIP シティ	「社会保険・労務問題の実務」 講師:社労士 小野純氏	21名 (1)	研修
助成金・補助金 有効活用セミナー	H30. 2. 16	フレンディア	「具体的申請方法と採択の急所」 講師:中小企業診断士石川アサ子	18名	研修
労働契約法改正 対応セミナー	H30. 2. 23	リリア 会議室	「無期転換ルール法改正の対応」 講師:社労士 小野純氏	9名 (1)	研修
税務コンプライア ンス向上セミナー	S-TAX アカデミ ー講座で実施	リリア 11F 会議室	講師:税理士会派遣講師	—	税制 研修

② 経営者・後継者育成セミナー

事業項目	開催日	会場	講師等	参加実績	担当
MB S 川口法人会マネジ メント・ビジネス スクール	第三期生募集 (4月～5月) ※広報紙 4-5 月号で 募集広報 6月開講式 講座増全7講 座 (7月～11月) 12月7日修了 式&講師を囲 んでの懇親会 (江南春)	川口クラス SKIP シティ 草加クラス 草加市文化会館	実践的テーマでゼミ方式 主任講師:齋藤安正(税理士・ 早大MBA終了) 特別招聘講師:佐藤靖(青山学 院大学経営学部教授)、福田淳児 (法政大学経営学部教授(特 別講師:税理士会派遣・尾山 聖税理士の4名の講師陣 川口「事業承継と相続対策」 草加「中小企業の財務戦略」 特講「利益を上げる経営の視点 ～ケーススタディ」 特講「決算書を読み解く力・ 税務コンプライアンス」 特講「経営計画の立て方・損益 分岐点経営で利益体質づくり」 会費制(教材費一部負担)	各クラス 定員20名 川口10名 草加7名 計17名 延べ参加数 川口40名 草加40名 計80名	研修

(注)有料セミナーの参加費(教材費相当額)は、会員に比べ未会員は1,000円高とする。

3. その他(役員・会員向け共益事業として)

事業項目	開催日	会場	講師等	参加実績	担当
役員一泊研修会	H29. 11. 24	伊香保温泉 「福一」	①理事・監事の役割・責任 講師:日本AMC・倉林社長 ②自主点検チェックシート活用 講師:小内研修委員長	64名	研修
役員研修会	H29. 9. 7 (理事会終了後)	リリア 11F 会議室	講師:川口税務署渡辺署長 テーマ:税務相談室の概要	44名	研修
役員研修会	H30. 2. 1 (理事会終了後)	フレンディア	講師:川口税務署米山副署長 テーマ:国際戦略トータル	43名	研修
役員研修会	H30. 3. 16 (常任理事会終 了後)	フレンディア	講師:小内研修委員長 テーマ:自主点検チェックシ ート活用のすすめ	18名	研修
第一支部会員研修 会	H29. 12. 9	京王プラザ ホテル	講師:川口税務署 樋口統括官 テーマ:軽減税率制度について	26名	第一 支部

第四支部クレドセミナー	H30. 1. 24	新工会館	講師：五島佳代子（TOMA 税理士法人） テーマ：儲かる理念・クレドのヒミツ大公開	49名 (11)	第四支部
青年部会マネジメントセミナー	H30. 2. 6	フレンジア	講師：川口税務署 樋口統括官 テーマ：軽減税率制度について	22名	青年部会
女性部会ランチ勉強会	H29. 10. 3	銀座アスター	講師：庄司順子 (こころ共育研究所 代表) テーマ：「うまくいかない時の気持ちリセット講座」	27名	女性部会

5. 組織関係

(1) 会員増強運動

平成 29 年度会員加入勧奨は、「役員 1 人 1 社獲得運動」を厚生事業と一体推進すべく「ふやそう！新規加入 GOGO キャンペーン」を各支部目標に向けて推進しました。（実績は別紙参照）
また、各金融機関、提携生損保のご協力により、結果 107 社の加入勧奨ができましたが、倒産・休廃業・移転、経費削減、等の理由による退会及び 3 年連続未納先整理（定款第 8 条会員資格喪失）により、年度末会員数は、4,845 社と 114 社減少し、加入率 35.1%と前年度末比 0.8%減少した。

イ. 平成 30 年 3 月末会員増強運動結果及び会員状況

※法人格会員数＝個人賛助会員除き

支部名	29. 3. 31 会員数	法人会調 査法人数	純増 目標	加入 奨励		30. 3. 31 会員数	前期末 比増減	対目標比		30. 3. 31 法人格 会員数※
				転 入	転 出			加入率		
第一支部 (川口)	678	1,715	32	13	▲21	668	▲10	-31.3%	658	
				0	▲2			39.0%		
第二支部 (川口)	684	1,710	32	11	▲23	672	▲12	-37.5%	665	
				0	0			39.3%		
第三支部 (川口)	721	1,499	30	20	▲31	712	▲9	-30.0%	678	
				2	0			47.5%		
第四支部 (川口)	609	1,548	30	16	▲62	566	▲43	-143.3%	530	
				3	0			36.6%		
第五支部 (川口)	575	1,860	32	16	▲18	572	▲3	-9.4%	555	
				1	▲2			30.8%		
第六支部 (草加第一)	643	2,296	38	9	▲34	618	▲25	-65.8%	615	
				0	0			27.9%		
第七支部 (草加第二)	538	1,964	33	15	▲21	534	▲4	-12.1%	525	
				2	0			27.2%		
第八支部 (鳩ヶ谷)	511	1,223	23	7	▲22	503	▲8	-34.8%	491	
				0	▲2			41.1%		
合計	4,959	13,815	250	107	▲221	4,845	▲114	-45.6%	4,717	
		▲13		8	▲8			35.1%		

ロ. 部会の会員数

※ () 内前期末比増減

- ・青年部会 48名 (+3) ⇒※卒業2名 平成30年度期初46名
- ・女性部会 136名 (▲13)

②「ふやそう！新規加入 GOGO キャンペーン」(10-3 月)の実施

全法連の施策「2 年 2 万社純増運動 GOGO キャンペーン」に併せて、当会では、早期に会員 5,000 社を復元し、5 年後社団化 40 周年に 5,500 社を目指すことを目標に「増やそう！新規加入 GOGO キャンペーン」を、会員増強と厚生事業・新規制度加入の一体推進で各支部・部会ごとに目標ポイント制で推進した。

○会員増強の部 全体目標 230 p ⇒実績 98 p (達成率 43%)

・達成率 1 位 第三支部 68% (役員 9 名が紹介実績)

※各支部・部会の推進結果は、別紙参照

③金融機関との懇談会開催：川口市金融機関様との懇談会 (10/12 桃源)、草加市金融機関様との懇談会 (10/19 夢やアークホール) により川口法人会の事業についての理解促進と加入勧奨紹介のお礼と今年度加入勧奨の協力を要請した。

(川口：金融機関 21 名、役員 35 名 / 草加：金融機関 14、役員 21 名参加)

(2) 会員交流事業の促進

① 総会懇親会の開催：5 月 18 日総会・記念講演会終了後、リリア催し広場にて会員懇親会開催。会費制立食パーティ形式で行った。(参加者：来賓：川口税務署長、川口県税事務所長、川口市長、他来賓 32 名、役員・会員 104、計 136 名)

② 支部・部会交流会の開催：日帰りバス研修会、異業種交流会、各種会員親睦会 (ボウリング大会、ゴルフコンペ、ソフトボール大会) などを支部毎に企画し開催。※○内は事業回数

	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	青年	女性	計
日帰り	—	68	32	—	35	20	23	44	—	35	257 ⑦
交流会	28	—	42	28	—	12	8	—	30	58②	206 ⑧
親睦会	—	—	—	20	29	—	—	—	47②	—	96 ④
計	28 ①	68 ①	74 ②	48 ②	64 ②	32 ②	31 ②	44 ①	77 ③	93 ③	559 ⑯

③ 会員特典事業の促進：別紙「会員向け主な事業について」「会員向け事業の利用状況」参照。

6. 厚生関係

(1)福利厚生事業：経営者大型保障等受託生損保 3 社の保険は、“企業を守り、経営者を守り、従業員を守る” 会員の福利厚生に資するという目的の事業であり、法人会活動を維持、発展させるための財政基盤の原資となるものであることを啓蒙の上に、以下の厚生事業を推進した。全法連施策「2 年 2 万社純増運動 GOGO キャンペーン」に併せて、会員増強と一体推進で、“ふやそう！新規加入 GOGO キャンペーン” を 10-3 月で実績ポイント制で推進した併せて、県連施策「役員 1 人 1 社紹介運動」を通年で実施した。

- ・新規加入 GOGO キャンペーンの展開—チーム単位 (10-3 月) 目標 230P 実績達成率 63%
「役員 1 人 1 社紹介運動」の推進 (通年)
 - ・新契約保険金額: 成約目標 741 千万円—実績 576.1 千万円 (達成率 77.7%、県連 87.5%)
 - ・役員加入率目標 75%以上かつ対前年純増—実績 66.6% (前年度末 97.7%、県連 71.0%)
 - ・役員紹介: 成約目標 27 社—実績 24 社 (達成率 88.9%、県連 56%)
 - ・青年部会: 新契約目標 5 社—実績 5 社 (達成率 100%、県 46.1%)
 - ・女性部会: 新契約目標 10 社—実績 1 社 (達成率 10%、県連 38.3%)

埼玉県連が設定する目標達成に向け、推進する。

① 経営者大型保障制度の獲得推進目標

	新契約保証金額		新規企業		取扱企業	
	目標	実績	目標	実績	目標※	実績
大同生命扱	64.3 億円	54.9 億円	27 社	29 社	131 社	119 社
AIU 扱	9.8 億円	2.7 億円	11 社	2 社	23 社	12 社
合計	74.1 億円	57.6 億円	38 社	31 社	154 社	131 社
達成率		78.0%		81.6%		85.1%

(委託先 大同生命保険株式会社分)

※(新規企業+追加企業)

② ビジネスガード(旧経営保全プラン)の獲得推進目標

	目標	実績	達成率
新規加入企業数	65 社	57 社	87.7%
加入企業数	605 社	569 社	94.0%

(委託先 AIU 保険会社)

③ 「がん保険」の獲得推進目標

	目標	実績	達成率
新規加入企業数	57 件	54 件	94.7%
年換算保険料	27.7 百万円	25.2 百万円	90.8%

(委託先 アフラック) (注)年換算保険料 50,000 円を 1 件で換算

④ 健康管理促進運動として「生活習慣病健診」「人間ドック」「総合ガン検診(PET/CT)」の受診促進を図る。(広報紙・ホームページで案内)

1. 生活習慣病健診・一般定期健診 (経営者・従業員・パート及び家族が利用できる)
 - ※ 1 日人間ドック形式。選べるオプション検査あり。「労働安全衛生法」に基づく「一般定健康診断」として利用可。協会けんぽの補助も受けられる (35 歳~74 歳の被保険者)
 - ※ 「健康相談」健診受診者のうち希望する方を対象に、全日本労働福祉協会が SKIP シティで実施。
2. 「総合ガン検診(PET/CT)」(経営者とその家族、従業員が利用できる)
3. 「人間ドック」補助金制度 (会員希望の病院・機関で受診)
 - ※ 受診料 (35,000 円以上) に対して、申請により 1 企業 1 役員、先着 100 名に 5,000 円の補助金を支給

項目	医療機関/会場	利用者数	前年実績
1. 生活習慣病健診 一般定期健診 《法人会員特別料金》	全日本労働福祉協会 SKIP シティ 草加市立中央公民館	666 名 (夏季 5 月 379 名) (秋季 11 月 287 名)	652 名
2. 総合がん検診 (PET/CT) 《法人会員特別料金》	済生会川口総合病院 PET/CT センター	26 名	28 名
3. 人間ドック補助金制度	受診者任意の医療機関	17 名	15 名

7. 広報関係

(6)税に関する広報紙発行、同ホームページによる情報発信

- ① 広報紙「ほうじんナビ」隔月偶数月に発行：(発行部数 7,500 部)、全会員へ宅配および公共施設・地元金融機関等に配付したほか、ホームページにより随時情報発信し、税務知識の普及、事業紹介や各種催事の告知を図った。

(備付先) 計 116ヶ所—2,290部

川口市庁舎・公民館・図書館・医療センター等施設 56ヶ所 600、川口市スポーツ施設 10ヶ所 100、草加市庁舎・公民館・図書館等 16ヶ所 370、川口税務署 100、税理士会 200、キュポ・ラ総合受付 1140 (川口市観光物産協会)、埼玉りそな銀行川口支店 50・鳩ヶ谷支店 30・草加支店 30、草加市立病院 50、草加市文化会館 20、SKIP シティ 1階カウンター30、川口信用金庫 10ヶ所 300、青木信用金庫 14ヶ所 300 追加

- ② ホームページ随時情報発信機能バージョンアップ・SMS 配信開始：ホームページにより随時情報発信し、税務知識の普及、事業紹介や各種催事の告知を図った。一昨年度 4 月全面改訂リニューアルオープンし、その後随時改良。会員企業がホームページ的に PR 掲載できる会員企業紹介コーナー (ネット上から自ら簡単登録)、会員企業ホット情報投稿記事掲載、今週の厳選ニュース配信 (毎週火曜アップ)、社会保険料算定ソフト、仕訳塾 (経理実務練習問題) など機能の追加・改良でバージョンアップさせ閲覧数向上に取り組んだ。

★SNS活用・情報発信開始：公式 Facebook、公式 Twitter を 1 月より HP 上にバナー設置し、タイムリーに事業活動情報を配信。

- ③ マスメディア取材による広報の展開：地元新聞、タウン誌、ケーブル TV 等へ積極的に取材依頼し 報道された。(埼玉県記者クラブ・市役所記者クラブへプレスリリースなどで働きかけ)

【平成 29 年度パブリシティ記事と放送】※詳細別紙参照

メディア媒体	掲載・放送回数	内 訳
新聞	12	埼玉新聞 12、産経新聞 1、東武新聞 1
テレビ	4	J:COM (川口戸田、草加) 4
ラジオ	5	FM 川口 5
地域誌	8	マイシティジャーナル※
その他	2	時事通信社 WEB (官庁向け)
計	33 回	前年度 27 回

※マイシティジャーナル：川口市内の読売新聞折込みのタウン誌。月 2 回発行

④**会員企業 PR サービスの拡充策展開**：現行に加えて新たな会員企業限定での PR サービスを企画検討した。4月よりホームページ・広報紙等で案内。

	PR サービス内容	料金	特 記
既存 サービス	1. 広報紙面「わがまち わが企業」会員企業紹介	無料	
	2. 広報紙裏表紙・区画広告（8 枠）	有料	半年契約（3 号分）
	3. ホームページ・会員企業紹介コーナーでの登録	無料	現在 62 社登録掲載
新サービス （昨年 4 月）	4. 広報紙チラシ同封サービス（会員 5,000 社宅配）	有料	11 件同封
	5. ホームページバナー広告（トップページ）	有料	※提携先は無償
	6. ホームページ会員企業ホット情報投稿記事掲載	無料	

※平成 30 年度より広報紙中紙面広告（有料）募集開始－詳細は別紙参照